

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2025年 7月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	15名 (2名 7月利用無し)
○従業者評価実施期間	2025年 7月 1日 ~ 2025年 7月 16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 7月 31日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日職員が利用者様のその日の様子について情報共有している。	当日のうちにその日の様子についてや保護者様から伺ったこと等についてレポートを書き、共有している。	レポートに記載された内容について検討の場を作り、よりよい支援につなげる。
2	視覚的にわかりやすく事業所内のスペースを分けている。	車椅子は人工芝、素足で歩く場所はマットと分けている。また、クッションやソファ等を複数用意し、寝転がって休憩したり、リラックスしたりできる場所の確保をしている。	車椅子の台数が増えてきたため、長期休業に向けて各スペースの範囲を検討する。使用していないおもちゃの整理をし、スペースを広く確保する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修等が行われているが、参加者にはらつきがある。	実施されている曜日、時間が固定化されているため、非常勤職員が参加できないことがある。	研修等を複数回に分け、広く職員が参加できるように工夫する。
2	PDCAサイクルやマニュアル等について共通理解にばらつきがある。	広く職員参加ができていない。利用者様がいる時間のみ勤務する職員もいる為、共通理解できる時間が取れていなかった。	改めて説明、理解する場を設ける。短時間でもわかるよう、表示やまとめ方等を工夫した物を作成する。
3			